

取扱説明書(機種別)

測温抵抗体入力モジュール

WRBT-AT1R□, AT2R□

この取扱説明書では機種ごとの使用方法を説明しています。別刷りのリアルリンク WRBT シリーズ通信機能付信号変換器取扱説明書と合わせてご利用下さい。

watanabe製品をご愛顧いただきありがとうございます。ご希望通りの仕様であるかラベルの記載内容をお確かめ下さい。本品は、厳重な品質管理基準に基づいて製造、検査されております。万一、輸送中の破損などで不都合がありましたら、弊社またはお買い上げの販売店までご連絡下さい。

ご使用にあたって

ご使用前にリアルリンク取扱説明書の「使用上の注意」を必ずお読み下さい。

仕 様

WRBT-AT□R□-□□1X□

シリーズ	タイプ	入力点数	入力センサ	電源	オプション	検査成績書	内 容
WRBT							プラグインモジュール
	AT						アナログ入力モジュール
		1					1量入力
		2					2量入力
			RF				Pt100Ω at0℃
			RP				JPt100Ω at0℃
			RG				Pt50Ω at0℃
				10			0～50℃
				11			0～100℃
				12			0～150℃
				13			0～200℃
				25			0～250℃
				30			0～300℃
				35			0～350℃
				40			0～400℃
				50			0～500℃
				60			0～600℃
				14			-20～80℃
				15			-50～50℃
				16			-50～100℃
				17			-100～100℃
				18			-200～200℃
				99			上記以外お問い合わせ下さい
				1			AC85～264V DC85～132V
				X			なし
				0			なし
				1			付き

概 要

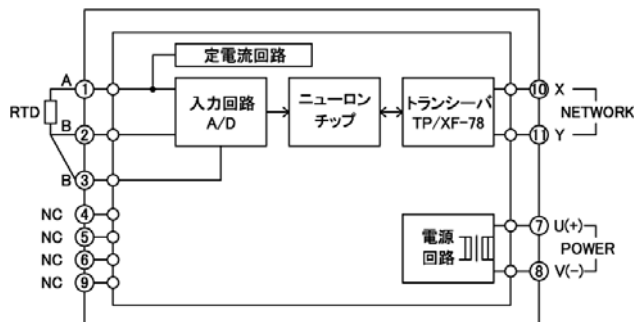
測温抵抗体を入力とする通信機能付き信号変換器の送信ユニットです。通信は1対のツイストペアケーブルでおこないます。

モジュールの設定

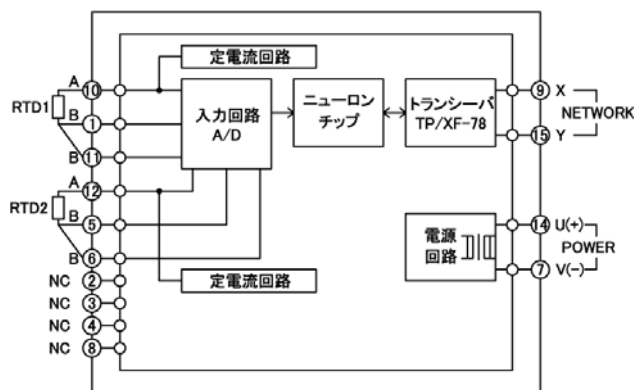
ネットワーク上で接続するためのモジュールのアドレス登録はネットワークに接続したパソコン上のソフトウェアのモジュール登録ツールより行います。モジュールから設定はできません。詳細はモジュール登録ツール取扱説明書をご覧ください。

回路ブロック図

WRBT-AT1R□

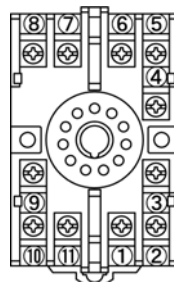


WRBT-AT2R□



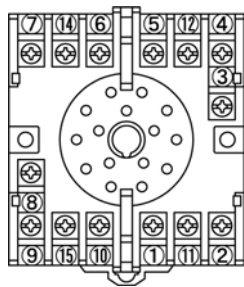
端子配列

WRBT-AT1



No.	記号	内 容
1	A	INPUT1 入力信号 1
2	B	
3	B	
4		NC 空端子
5		
6		
7	U(+)	POWER 電源
8	V(-)	
9	-	NC 空端子
10	X	
11	Y	NETWORK 通信

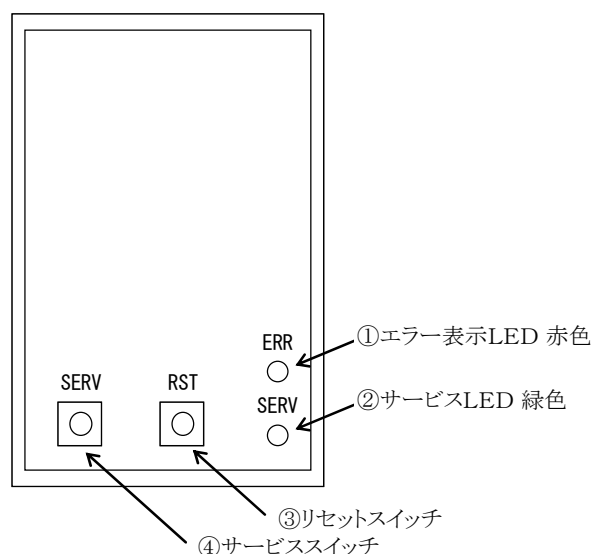
WRBT-AT2



No.	記号	内容
1	B	INPUT1 入力信号 1
2		
3		NC 空端子
4		
5	B	INPUT2 入力信号 2
6	B	
7	V(-)	POWER 電源
8		NC 空端子
9	X	NETWORK 通信
10	A	
11	B	INPUT1 入力信号 1
12	A	INPUT2 入力信号 2
14	U(+)	POWER 電源
15	Y	NETWORK 通信

設定スイッチ

前面のふたを手前に開けると下図のスイッチとLEDがあります。



詳細はリアルリンク(WRBT シリーズ)取扱説明書にあります。

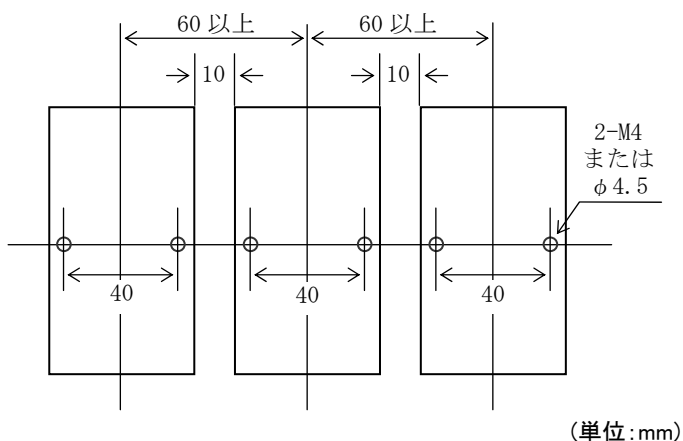
- ① エラー表示LED
モジュールの状態とトラブルの内容が確認できます。
- ② サービスLED
サービススイッチを押した時と、内部の EEPROM のデータが破壊された時に点灯します。
また、モジュールの内部設定がされていないと、この LED が点滅をします。
- ③ リセットスイッチ
通常このスイッチは使用しません。仮にこのスイッチを押しても機能に影響はしませんが、不用意に押さないでください。
- ④ サービススイッチ
モジュール登録ツールを使用し、モジュールにアドレス設定をする時に使用します。詳細はモジュール登録ツール取扱説明書をご覧ください。

範囲外入力時の動作

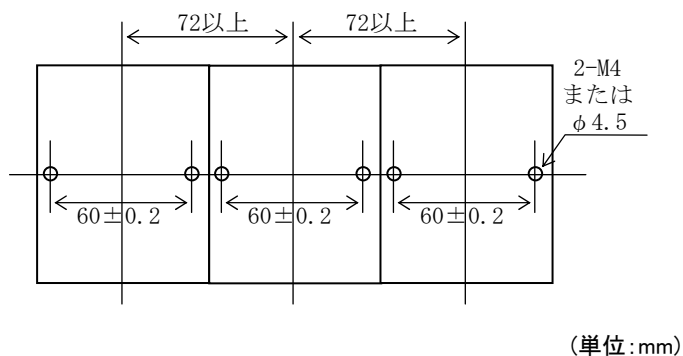
1. 過大入力
入力信号が 100%を越えた場合、104%までのデータを送信します。これ以上の過大な信号が入力されても 104%を越えるデータは送信しません。
2. 過小入力
入力信号が 0%を下回った場合、-4%までデータを送信します。これ以下の過小な信号が入力されても-4%を下回るデータは送信されません。

取付寸法

WRBT-AT1



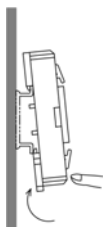
WRBT-AT2



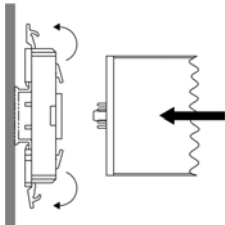
DINレールへの着脱

1. 取付け

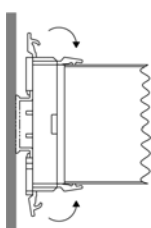
1-1 黄色のスライダが下側になるように取付けます。裏面のフックをレールにかけ矢印の方向にカッチと音がするまで押してください。



1-2 黄色のフックを外側に広げます。本体を差す前に必ず電源を切ってください。本体の上下を確かめてまっすぐ差し込みます。上下を間違えると、本体 プラグ部を破損することがあります。

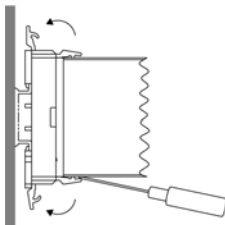


1-3 フックで本体を必ず固定してください。フックで固定しないと振動や衝撃で本体が脱落したり、接触不良を起こし事故の原因になります。

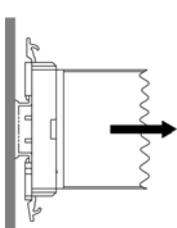


2. 取りはずし

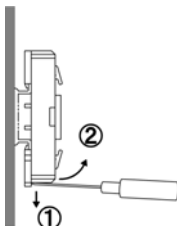
2-1 両側の黄色のフックをドライバーなどを使ってはずします。



2-2 本体をはずす前にならず電源を切ってください。本体をまっすぐ手前にひくとはずれます。



2-3 黄色いスライダの溝にドライバーを差し込んで①の矢印の方向に下げながらソケットを②の矢印の方向にひくとはずれます。



その他の注意事項

1. 設置

- ・使用温度が-5～55℃の範囲を越えない場所に設置してください。
- ・使用周囲湿度が90%以下で結露しないところに設置してください。
- ・塵埃、金属粉などの多い場所に設置する場合、放熱対策を施した防塵設計の筐体に収納してください。
- ・振動、衝撃は故障の原因になります。極力避けてください。

2. 配線

- ・電源ライン、出力信号ライン、通信ラインはノイズの発生源、リレーの駆動ラインの近くに配線しないでください。
- 本器は電源投入と同時に使用可能です。すべての性能を満足するには30分間の通電が必要です。

保証

1. 保証期間

本製品の保証期間は納入後1年間といたします。

2. 保証範囲

保証期間内に当社側の責により故障が生じた場合は、代替品の提供または故障品の預かり修理を無償で実施させていただきます。

ただし、故障の原因が次に該当する場合はこの保証の対象範囲から除外いたします。

- ① 本取扱説明書に記載されている条件、環境、取扱いの範囲を逸脱してご使用された場合
- ② 当社以外による構造、性能、仕様などの改変、修理による場合
- ③ 本製品以外による原因による場合
- ④ 当社出荷時の科学、技術の水準では予見できなかった場合
- ⑤ その他、天災、災害、不可抗力など当社側の責ではない原因による場合

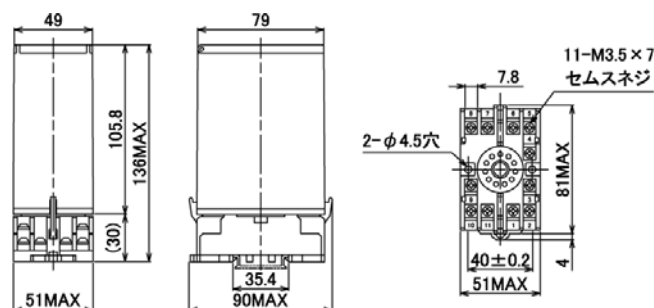
なお、ここでいう保証は本製品単体の保証に限るもので、本製品の故障や瑕疵から誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

責任の制限

本製品に起因して生じた損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

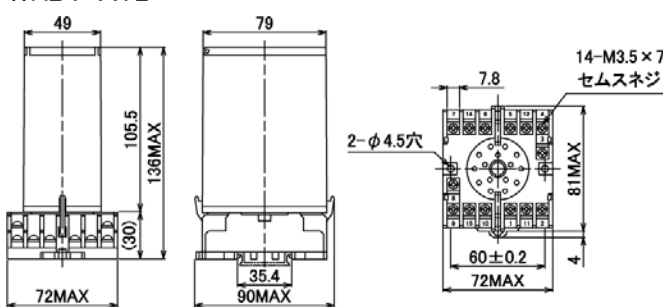
外形図

WRBT-AT1



(単位:mm)

WRBT-AT2



(単位:mm)

付属品

● ベースソケット

- AT1: 11PFA 1個
- AT2: 14PFA 1個

別売付属品

● 終端抵抗 WRBT-T100(100Ω)